

TV 会議システムによる双方向授業

昨年 10 月より、遠隔講義システムを用いて三大学間双方向授業を開始しました。配信科目には医工薬連環科学教育の理念に沿った**表 1**の講義が選択されました。今年度は卒業所要単位の対象外でしたが、延べ 200 名近くが聴講し、講義後の質疑応答やアンケートも実施しました(**表 2**)。遠隔講義システムの整備の遅れは、講義記録ビデオや施設見学とレポートなどにより、補習しました。また、大阪薬科大学から梶本特任教授が関西大学に出向し、配信講義について解説などを加え、受講環境の改善に努めました。新年度からは配信科目数は大幅に拡充され、卒業単位対象科目となります。在籍大学にはない科目を聴講できたことへの評価が高く、また、予備知識不足に関する声もありました。

表 1. 三大学医工薬連環科学教育機構の双方向授業の提供科目

提供大学	提供科目	主な内容
大阪医科大学	医学概論 (佐野 浩一、田中 克子、河野 公一)	自然科学・医療・看護・公衆衛生など専門家によるオムニバス形式
関西大学	福祉工学概論 (倉田 純一)	障害者・高齢者の福祉に向けての開発者の視点からのアプローチ
	機能性食品 (福永 健治)	食品中の生理活性物について
	社会環境適応材料 (池田 勝彦)	生体親和性材料、その他について
大阪薬科大学	機能形態学1 (高岡 昌徳)	神経系・脳とその制御系について
	生薬学2 (芝野 真喜雄)	生薬・漢方薬について(実物観察)

表 2. 提供科目に対する関西大学でのアンケート結果

	機能形態学1	生薬学2	医学概論
受講者の所属			
・システム理工	18%	16%	40%
・化学生命工	76%	82%	50%
・その他	6%	2%	10%
授業内容について			
・興味深いものだった	86%	88.4%	87.5%
・あまり興味をもたなかった	1.5%	6.3%	12.5%
・どちらともいえない	12.5%	5.3%	0%
授業についての内容理解			
・ほぼ理解できた	30%	17.7%	50%
・ある程度理解できた	65%	81.3%	50%
・理解できなかった	5%	1%	0%